



考える糧 分化・個別化

6月12日の主題の事前資料です。
ご自由に書き込んでください。

Differentiated Classroom versus Non-Differentiated Classroom

質問

「個別化」が配慮されている教室とそうではない教室はどのように異なるでしょうか。

	「個別化」が配慮されている教室	「個別化」が配慮されていない教室
個々の知性、技能、関心などの違い	<p>どのような知性、技能のレベルの生徒でも参加することができる(三ツ橋)。</p> <p>それぞれの段階があって良いと相互に認めている(勝田)</p> <p>困った時にいつでも助けてと言える環境(中川)</p>	<p>ある一定の知性、能力がないと参加することができない(三ツ橋)。</p> <p>参加するための前提条件が要求される(勝田)</p> <p>「できる」生徒が尊重される(中川)</p>
子どもの能力観、知性	<p>個々に応じた能力や知性を伸ばすことができる機会がある(三ツ橋)。</p> <p>これからどのようにも成長できる。と感じられる(勝田)</p> <p>お互いの良さをお互いに認め合える(中川)</p>	<p>ある一定の能力や知性だけのある一定の基準まで伸ばすことを目的としている(三ツ橋)。</p> <p>成長する方向性が定められていると感じている(勝田)</p> <p>序列化が当然視されている(中川)</p>
教師が重要だと感じていること	<p>全ての子どもの成長、子どもに応じた成長(三ツ橋)。</p> <p>考える力や表現する力、一人の人として今をどう生きるか？を考えられる力。全ての子どもがいかにようにも成長することができる。と感じている(勝田)</p> <p>それぞれの学び方・考える速度・思考回路は様々だと分かっている。自分の想定幅を狭めずに受け入れようとす</p>	<p>ある一定のラインまで子どもを持って行く、できない生徒をできるようにすること、教えること(三ツ橋)。</p> <p>知識や技能を効率よく均質的に高めること。同じ方法で、同じ結果を得られるように。間違った意味での「平等・公平」。特定の目的のみに焦点が当てられており、それはしばしばテストの成績であったり、知識の量を増やすことに焦点が当てられることが多い(勝田)</p>

	<p>る(大里)</p> <p>自ら学ぶ力を身につけることができる(米田)</p>	<p>こうあるべきと考えて、決められたルートやゴールを目指させたい(大里)</p> <p>知識は本来は教えてもらうことはできないと考えている。(米田)</p>
<p>子どもの興味や関心</p>	<p>その子どもが興味を持っていることや関心を題材に学習を展開する(三ツ橋)。</p> <p>学ぶことと同じくらい大事に考えられている。またその方向性はそれぞれに異なるものであり、統一する必要はない(勝田)</p>	<p>1つの記事や出来事だけを取り上げ、子どもの興味や関心を自分(教員)が興味や関心があることに向けさせる(三ツ橋)。</p> <p>興味は持てるものがもてれば良い。という前提に立っている。興味を持つことと、知識を得ることは切り離されて考えられている(勝田)</p>
<p>教師の役割</p>	<p>ファシリテート、フレームワーク作り(三ツ橋)。</p> <p>調整をしたり、足りないところを補ったり、支援をする役割。平行な関係であり、俯瞰して見る役割。伴走者(勝田)</p> <p>生徒の中の力を価値づける(中川)</p> <p>誤概念を取り除く(米田)</p>	<p>教えること(三ツ橋)。</p> <p>与えたり、授けたりする役割。しばしば全てを知っていないといけないと思われがち。垂直な関係。コントロールすることや、管理する役割。監督者(勝田)</p> <p>到達点に対して同じ道のりを生徒に求める。(中川)</p>
<p>子どもの役割</p>	<p>その分野内での興味や関心、また自分の能力を駆使して、その分野の知識を獲得し、その知識を使って新たなことを創造することができるようになること(三ツ橋)。</p> <p>「自分の成長」に責任を持つこと(勝田)</p> <p>学ぶことや学び方を自分で選び取り、すすめていくこと(大里)</p> <p>自分で判断し、選択する(中川)</p>	<p>しっかりと話しを聞き、ノートを取り、提供された知識を吸収すること(三ツ橋)。</p> <p>与えられたものを身につける。効率よく作業をこなす。再現性の高いアウトプットをすること(勝田)</p> <p>教師の指示に従って、決められたことをこなすこと(大里)</p> <p>先生の求める答えを探す(中川)</p>
<p>教師が出す指示の内容</p>	<p>WHY, HOWなど質問形式(三ツ橋)。</p> <p>Vision, Mission, Reflection, feedback</p>	<p>正解は、正しい道のりとは具体的な方法について(三ツ橋)。</p>

	<p>k, 俯瞰的にみた説明・解説(勝田)</p> <p>生徒から問いを引き出す指示(中川)</p>	<p>主に, 局所的・焦点化された説明, 解説。何がどうテストに出るか?(勝田)</p> <p>時間内の行動全て(中川)</p>
課題やワークシート	<p>単一の答えではなく、なぜそのようにしたのか、なったのかなど、単一ではない答えを求める課題、ワークシート(三ツ橋)。</p> <p>重要なことや一般的な見解は示しつつも、表現の仕方や、考える順番などについては裁量権が生徒にある。また、それぞれが問題を感じたことについて取り組める余白がある(勝田)</p> <p>生徒に選択権や複数の表現方法が用意されている(中川)</p> <p>自分の意見を記すことができる部分がある(岡本)</p>	<p>穴埋めなど単一の答えを求める課題やワークシート(三ツ橋)。</p> <p>みんなが同じ順番, 同じ問題, 問題は発見するものではなく、与えられるもの(勝田)</p> <p>誰が解いても正解か間違いしかない課題(中川)</p> <p>知ってるか知らないか、穴埋めなど(岡本)</p>
評価の目的	<p>自分の強み、もっと伸ばせることをみんなが理解するため(三ツ橋)。</p> <p>学習者が成長するための道しるべとなるもの(勝田)</p> <p>それぞれの目標に対して、今の立ち位置を理解できるようなヒントだったり、学び方や学ぶ方向性のサポート(大里)</p> <p>次の行動のための助言(中川)</p>	<p>教員の目線から見た大切なことを、どれだけ理解しているかを計るもの(三ツ橋)。</p> <p>数値化し、量的に比較するためのもの。生徒の成長のためというよりは、説明責任のために行われることが多い(勝田)</p> <p>教師やある何かの尺度に沿って行われる。多くは何かを達成したかしていないかで決められる(大里)</p> <p>個別の生徒のためでなく、集団を見るための指針(中川)</p>
評価の時期	<p>最初、中盤、終盤、いつでも(三ツ橋)。</p> <p>いつでも(勝田)</p>	<p>最後に大きなテストが待っています、もうすぐその頃ですね(三ツ橋)。</p> <p>みんなが同じタイミング。中間・期末(勝田)</p>

<p>評価の内容</p>	<p>ありとあらゆる事柄について評価の対象(内容)とすることができる(三ツ橋)。</p> <p>観点が複数存在する。複数の物差しがある。また、その観点については学習者の活動に寄り添ったものである(勝田)</p>	<p>教員が大切だと思っていることだけが、または教員が計りやすいと思っていることが評価の対象(内容)となる。</p> <p>テスト。物差しは一つだけ(勝田)</p>
<p>成績の意味</p>	<p>1～10やABCのことを言っているのであれば、あんまり意味はないかな?! しいていえば、頑張り度?(三ツ橋)。</p> <p>(成績表をイメージしました)現時点での自分の相対的な位置を知るためのもの。形式的に数値化したもの。最終結果というよりは、これまで・今後の参考資料(勝田)</p> <p>子ども(個人)、その集団、教師、保護者にとって学びの得られるもの(田中)</p> <p>その生徒がその時点でできることの中身であり、その子の学びを振り返ることができるもの(中川)</p>	<p>先生の基準に照らし合わせてた、または全体と比較した自分の立ち位置(三ツ橋)。</p> <p>最終結果。序列。記載した段階・数値については今後一切変わらないという発想のもと作られるもの(勝田)</p> <p>ある共通の物差しにおける序列(田中)</p> <p>生徒を一定の枠内に収めるための基準値に則して序列化したもの(中川)</p>
<p>単元や課題にあてる時間</p>	<p>創造のためには、ひらめきが必要であるが、ひらめきが起こるには、事前の準備が必要なため、また失敗と修正の繰返しが必要なため、比較的ゆったりとした時間が組まれている(三ツ橋)。</p> <p>一つひとつが重層的になっており、最初と最後が曖昧。ペースは主に学習者の状況をもとに判断する。連続性、ストーリーがある(勝田)</p>	<p>課題に求めているのが、正答を導くためのスピードのため、全体的に課題にあてる時間が短い(三ツ橋)。</p> <p>最初と最後が決まっている。ペースはしばしば教科書をもとに決める(勝田)</p>

<p>教室環境</p>	<p>机やイスを移動させることが許可されていたり、机やイスが教員だけではなく、他のところにも向いている(三ツ橋)。</p> <p>使用目的の主語が学習者。「学習者の学習を豊かにするもの、インスピレーションを得られるもの」が好まれる(勝田)</p>	<p>全員が一定の方向を向かって机やイスがセッティングをされている(三ツ橋)。</p> <p>使用目的の主語の多くが教員。「学習者の注意を逸らさないもの」が重視される(勝田)</p>
<p>子どもの活動</p>	<p>理解する、計画する、応用し実践する、振り返る(三ツ橋)。</p> <p>学ぶ(勝田)</p> <p>子ども達が構築、再構築を繰り返す(田中)</p> <p>能動的な活動(大里)</p>	<p>聞く、メモる、覚える、吐き出す(三ツ橋)。</p> <p>勉強させられる(勝田)</p> <p>シナリオが用意されている(田中)</p> <p>受動的な活動(大里)</p>